

不育症検査

不育症とは、妊娠はするものの流産・死産を繰り返してしまう状態をいいます。
原因を調べ、適切な治療につなげることが大切です。

検査の目的

流産を繰り返す原因を調べ、今後の妊娠・出産の可能性を高めるための治療方針を立てることを目的としています。



主な検査項目

抗リン脂質抗体検査

(血液検査)



- 血液中の抗リン脂質抗体の有無を調べます。
- 血栓ができやすくなり、流産の原因となることがあります。

血液凝固検査

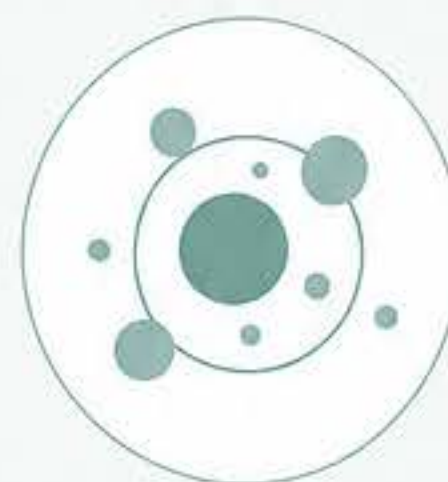
(血液検査)



- 血液が固まりやすい体質や、血栓を溶かす働きが異常がないかを調べます。
- 血栓による胎盤の血流障害を引き起こす可能性があります。

ネオセルフ抗体検査

(血液検査)



- 妊娠の成立や継続に関わるタンパク質に対する自己抗体(ネオセルフ抗体)の有無を調べます。
- 免疫の異常が流産の原因となる可能性があります。

検査の流れ(一般的な例)



問診・診察

これまでの妊娠歴や流産歴、既往歴などをお伺いします。



検査の実施

血液検査を行い、必要な検査を実施します。



結果の説明

検査結果をもとに、原因の可能性や今後の方針をご説明します。



治療・サポートへ

必要に応じて治療や生活指導を行い、妊娠・出産をサポートします。

ご注意

検査結果がすべて異常なしの場合でも、原因が特定できないことがあります。
一人ひとりに合わせた治療やサポートを行いますので、安心してご相談ください。

